

買い物弱者を作らないための3つの方法

①身近な場所の店を守る

近くに食料品や日用品を提供できる店を守る



②商品を届ける

商品を自宅まで配達したり、移動販売をする



③出かけやすくする

コミュニティバスや、乗り合いタクシーなどで自宅と店舗の間を送迎する



10月から移動販売開始!

平成25年10月より、(株)き・きコーポレーションによる移動販売が開始されます。高齢者マップを作成し、買い物が大変な地域(東は勇払、西は明德町)へ週に2回、生鮮食品などを載せた車で訪問します。これは、経済産業省の「地域自立型買い物弱者対策支援事業」として期待する、市内でも新しい取り組みの一つです。

詳細 (株)き・きコーポレーション 担当 中家(なかいえ)さん
TEL 011-215-9946へ



◀ 運転できない人など外出が難しい方にも、自分の目で選ぶ、買い物の楽しさをずっと味わってほしいです。(代表取締役社長 渡辺さん)

経済産業省では、買い物弱者を作らないための指針として、3つの方法を示しています(左記参照)。
その中でも苫小牧市は、商店街活性化(商業観光課)、中心市街地活性化(まちづくり推進課)の両面から、重点的に「身近な場所の店を守る」取り組みを進めています。

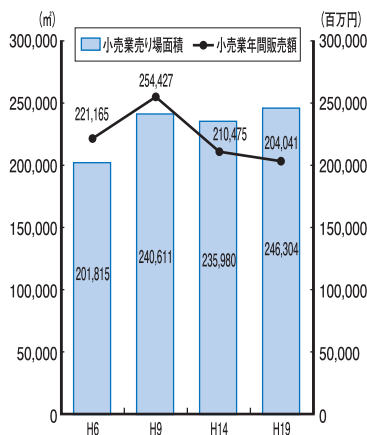
買い物弱者をつくらないための方法

今はまだ大丈夫という方こそ、これから加速する高齢化を見据え、車に頼り過ぎない買い物を守るための取り組みが必要になってきました。

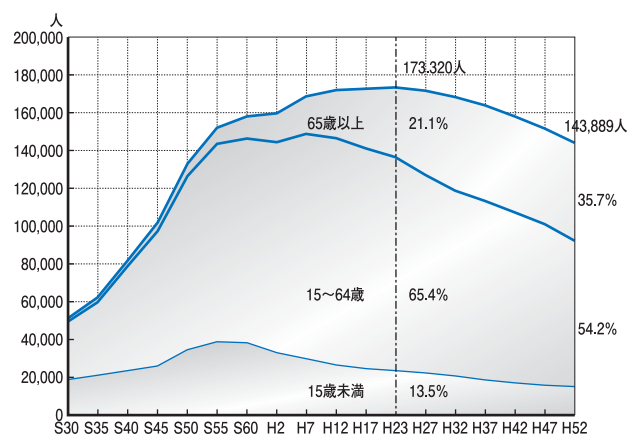
まちの現状

苫小牧市の高齢化率は21.1%で、高齢者のみで構成されている世帯は1万4千260世帯です(数値は平成22年国勢調査)。自動車運転に影響をおよぼす年齢は70歳以上と言われており、個人差はありますが、加齢に伴って身体機能が低下することが懸念されています。

苫小牧市における小売業売り場面積・年間販売額の推移



苫小牧市における人口・高齢化率の推移



商店街ににぎわいを

市では、今ある16カ所の商店会を応援し、盛り上げるしくみづくりをしています。具体的には、昨年9月に商店街活性化条例を施行し、まちぐるみで取り組むための指針を示しました。また、現在歯抜けとなっている空き店舗を活用するため、まちなかでの新規開業者に対して、店舗賃借料などの一部を補助しています。

まちなかのイベント

まちなかでは、雑貨販売やスイーツバイキング、演奏会とともに苫小牧だけではない東胆振の食を楽しめる「まち市」や、まちなか全体を100円ショップに見立て、ワンコインで買い物を楽しめる「百縁商店街」が開催されています。イベントがなくても利用できる足湯もあり、子どもから年配の方までが、気軽に立ち寄れるスポットになっています。また、まちなか商店街の魅力発信事業として期待される「まちゼミ」を今年度も開催します。

まち市・百縁商店街の様子

今月のまちなかイベント 8月3日(土) 夏祭りとペーパーファッションショー

港まつり開催に合わせ、夏祭りと高校生によるペーパーファッションショーを開催します。飲食コーナーや子ども縁日もありますので、ぜひ足を運んでください

と き 8月3日(土) 10時~15時

ところ まちなか交流館

詳細 まちづくり推進課

TEL 32-6111



①まち市で人気の産直野菜の販売 ②駒澤高校のコンサートでは、立ち見でいっぱいになるほど ③足湯で買い物疲れを癒せます ④まちなかイベントを盛り上げるとまちショップは、子どもに大人気 ⑤多くの人でにぎわう百縁商店街